



Vol. 202

2026. 4-5

今号の内容

- 01 第14旅団創隊20周年
善通寺駐屯地開設76周年記念行事
- 02 各部隊投稿
- 03 隊員家族投稿（第15即応機動連隊）
- 04 キーパーソン（第14偵察隊）

表紙写真提供 田中敏光氏



式辞を述べる仲西旅団長

第14旅団（旅団長 仲西勝典 陸将補）は、4月26日、善通寺駐屯地において「第14旅団創隊20周年及び善通寺駐屯地開設76周年記念行事」を開催し、第14旅団隷下部隊及び善通寺駐屯地所在部隊の隊員587名が観閲式に参列しました。25日の総合予行と26日の2日間で、約1万人が来場し、終日活気に満ちた雰囲気にも包まれ、改めて多くの方々に支えられていることを実感した記念行事となりました。

観閲式



田村士長による国歌独唱



第14旅団創隊20周年

善通寺駐屯地開設76周年

記念行事

『更なる挑戦』～輝く未来への継承～



任務の継承

今年、第14旅団創隊20周年という大きな節目を迎えメインテーマを『更なる挑戦』～輝く未来への継承～とし、「任務の継承」「伝統の継承」「関係の継承」を掲げ、記念ロゴマークを作成し、これまで支えてくださった地域の方々への感謝と今後も信頼される部隊として発展し続ける決意を込めました。



レンジャー隊員によるリペリング降下



模擬戦闘訓練展示



16式機動戦闘車（MCV）による空包射撃



155mm榴弾砲（FH70）による空包射撃



アトラクションでは『グリーンインパルス（第14偵察隊によるオートバイドリル）』が登場し、統制のとれた隊形変換や高度な操縦技術を披露しました。息の合ったスピード感溢れるアクロバティックなパフォーマンスは来場者を魅了し、会場は大きな拍手に包まれました。

グリーンインパルス



女性自衛官によるパフォーマンス



難易度の高いウィリー走行



第14音楽隊は、四国八十八ヶ所の霊場を巡る『お遍路』の文化にちなんだ「四国巡礼メドレー」を演奏しました。

音楽演奏

太鼓演奏

善通寺十五聯太鼓は、躍動感ある動きと自衛太鼓の特徴でもある一糸乱れぬ撥さばきで来場者を魅了しました。



伝統の継承



V-22 オスプレイ
観閲飛行

市中観閲行進

市中観閲行進では、隷下部隊の車両行進・4月入隊したばかりの新隊員による徒步行進、更には、輸送ティルト・ローター機V-22 オスプレイを加えた観閲飛行が行われ、迫力ある飛行に沿道からは大きな歓声と温かい声援が送られました。来場された多くの皆さまに陸上自衛隊のことを知っていただく良い機会となりました。



新隊員による徒步行進



沿道に手を振るの皆さま

職種紹介(装備品展示)



職種紹介(装備品展示)やロープ体験・WAPC体験搭乗といった体験型イベントも実施され、自衛隊の活動に直接触れる貴重な機会となりました。

第14旅団及び善通寺駐屯地は、これまで受け継がれてきた伝統を大切に継承しつつ、地域とともに歩み、輝く未来に向けて更なる挑戦を続けてまいります。



WAPC体験搭乗



関係の継承

ロープ体験



ミニコンサート



子供広場



YouTube



第14旅団公式YouTubeでダイジェスト動画を公開しています。是非ご覧ください！

こちら



グリーンインパルス オートバイドリル練成

第14偵察隊（隊長 神品秀雄 2等陸佐）は、旅団創隊20周年及び善通寺駐屯地開設76周年記念行事に向け、オートバイドリルの練成を実施しました。

今年は、過去最多の人員を練成させ、「グリーンインパルス」のお披露目も相まって、激しいレギュラー争いが日々繰り広げられました。その中で操縦技術の向上はもとより、隊員の士気も日に日に高まっていきました。

また、初となる3部構成でのアトラクションに挑戦し、例年とは異なるプレッシャーがある中で本番を迎えましたが、その完成度は初めてであることを感じさせないものとなりました。来場者の方だけでなく、隊員自身も感動を覚える演技となりました。

来年の記念行事でも、皆様にさらなる感動をお届けできるよう、一層の練度向上に努めてまいります。



雨天時の練成



連続ジャンプの練成



ウィリー走行の練成



女性自衛官2名の活躍

一人ひとりが広報官 記念行事

第14情報隊（隊長 細田洋志 2等陸佐）は、4月26日、旅団創隊20周年及び善通寺駐屯地開設76周年記念行事に参加しました。本行事には3月着任した細田隊長のもとで初めて参加する記念行事となり、隊員たちは高い士気を持って臨みました。

当日は観閲式及び市中観閲行進のほか、装備品展示を実施し、広報官としての意識をもって行動することで、来場された皆様に第14情報隊のことを知っていただくことができました。

第14情報隊は、今後も即応態勢の維持に努めるとともに、地域との信頼関係を大切にしながら各種任務に邁進してまいります。



観閲式



市中観閲行進



市中観閲行進の細田隊長

再入隊して感じること 第14飛行隊 佐藤 1尉



私は一度陸上自衛隊を離れ、民間企業で働いたのち、四国では初となる再任用の幹部自衛官として復帰しました。この経験を通じて、今感じていることを率直にお伝えします。

改めて感じるのは、陸上自衛隊には個人が安心して力を発揮できる環境があるということです。

民間では、自分の裁量で挑戦できる面白さがありました。一方で、経営など自分の力が及ばない領域の影響を大きく受け、生活や将来の見通しに強い不安を感じることもありました。その中で、安定した生活の基盤があつてこそ、安心して仕事に集中し、高いパフォーマンスを発揮できるのだと実感しました。そして改めて、陸上自衛隊にはその環境があつたと感じ、復帰を希望しました。

陸上自衛隊は、事情があつて一度は離れた私を再び受け入れ、安心して働ける環境と活躍の場を与えてくれました。以前にも増してこの環境のありがたさを実感するとともに、再び迎え入れていただけたことに深く感謝しています。

今後は民間で得た新しい視点も生かし、以前にも増して前向きに地域と組織に貢献していきたいと考えています。

音で巡る 四国巡回演奏「マルシュ・ムジカーレ2026」

第14音楽隊（隊長 平林誠 1等陸尉）は、3月25日に香川県さぬき市の源内音楽ホール、3月28日に徳島県石井町の石井町中央公民館において、四国巡回演奏会を実施しました。

両公演とも2部構成となっており、第1部では、アンサンブルステージとして、金管・木管・打楽器による小編成での演奏を披露しました。普段の吹奏楽編成とは異なり、各楽器の音色や細やかな表現がより身近に感じられる演奏となり、来場者は生演奏ならではの響きを楽しんでいました。続く第2部では、吹奏楽編成によるステージを実施し、「フラッシング・ウインズ」を皮切りに、発表されて間もない2026年度全国吹奏楽コンクール課題曲の全曲演奏など、迫力あるサウンドを披露しました。

小編成ならではの繊細な響きと、大編成による力強い演奏の両方を楽しめる内容となり、会場は大きな拍手に包まれました。



新進気鋭！ 幹部任官行事

第15即応機動連隊（連隊長 柿内慎治 1等陸佐）は、3月15日付で3等陸尉に昇任した新進気鋭の幹部候補生6名に対して幹部任官行事を実施しました。

幹部任官者は当初、駐屯地グラウンドで各人が抱負を述べる予定でした。

しかし！サプライズにより急遽、格闘訓練（ミット打ち）が開始され、任官者たちは、それぞれ配属される中隊の前でミット打ちが始まりました。突然のことでしたが、大きな動揺を見せることなく、幹部としての威容を中隊の隊員に示しました。また、柿内連隊長もミットを持ち、任官者たちの強い打ち込みと熱い意気込みを全身で受け止めました。

その後、息つく間もなく機動訓練が開始しました。柿内連隊長より連隊旗を拝受した渡部准尉は、幹部任官者に激励を飛ばし、持ち前の脚力でグラウンドを高速で走り始めました。重い連隊旗を持っているとは思えない速度に、幹部任官者だけでなく、周りで応援している隊員たちも大いに驚かせました。任官者たちは声援を糧に、負けじと必死に食らいついて走り切りました！

連隊からのサプライズを受け取った任官者たちは、最後に抱負を述べ、柿内連隊長に幹部任官の申告を実施し、行事は大盛況のうちに幕を閉じました。



幹部任官行事
挨拶



格闘訓練
(ミット打ち)



爆走する渡部准尉を
必死に追いかける幹部任官者たち



機動訓練

制限環境下で研ぎ澄ます 射撃訓練

第14特殊武器防護隊（隊長 松田秀司 3等陸佐）は、4月上旬、善通寺駐屯地において、戦闘射撃訓練シミュレータ（GCSS）を活用し、実任務を見据えた実践的な射撃訓練を実施しました。

本訓練は、汚染状況下での戦闘能力を高めることを目的とし、個人用防護装備や化学防護衣等を装着して射撃訓練を実施しました。防護マスクや防護衣の装着により、視界や聴力が制限される中での射撃は、姿勢の維持が困難となり高い技術が求められるため、継続した練度の向上が必要になります。

今後、訓練で得られた課題を整理・改善を図るとともに、成果を旅団全体へ共有し、第14旅団の対特殊武器防護の能力向上に寄与していきます。

【化学防護衣の着用】



立射の姿勢

【個人用防護装備の着用】



中間姿勢



伏撃ち



LAMの射撃訓練

自衛官としてのプライド 各種検定

第14旅団司令部付隊（隊長 玉置徳和 3等陸佐）は、4月、体力検定・射撃検定を実施し、隊員の基礎的能力を確認しました。

『一人一人がライフルマン』を合言葉に、射撃の命中精度以外にも銃の操作・故障排除・弾倉交換等の射撃技能の練度向上に努めています。また、任務遂行に必要な体力は、日々の恒常業務の合間を縫い、体力錬成をしています。これらの成果を年に1度、記録として確認するのが検定であり、隊員達のプライドを賭けた勝負の場となっています。

司令部付隊は、隊員個々が積み上げた錬成成果を各種任務において発揮できるよう、引き続き必要な能力の向上に努めてまいります。

【射撃検定】



伏撃ち



中間姿勢

【体力検定】



3000m走



シャトルラン



腹筋

闘・護・狙 その行動に強さが宿る 各種検定

第14通信隊（隊長 岡部師也 2等陸佐）は、4月中旬、各種検定を実施しました。検定では、任務達成に必要な技術、技能の練度向上を図るとともに、その練度を評価・判定することを目的としています。

格闘検定では想定される各種状況下における格闘技能を鍛え、救急法検定では戦術的戦傷救護に関する知識及び判断能力の向上を図るとともに、射撃検定では安全管理を徹底した反復訓練により射撃の練度を向上させました。

隊員一人ひとりが検定に真剣に取り組むことで、個人の能力の維持・向上を図り、自衛官として国民の信頼に応えてまいります。



格闘検定



救急法検定



射撃予習

基本基礎を磨く 第1次隊訓練

第14後方支援隊（隊長 渡邊修 1等陸佐）は、4月上旬、青野ヶ原演習場（兵庫県）において第1次隊訓練を実施しました。

本訓練では、部隊の機動、展開、築城、夜間行進及び自衛警戒戦闘に至る一連の行動を総合的に演練し、いかなる状況にも即応し得る基本的行動の練度向上を図りました。

また、厳しい環境下においても任務を確実に遂行できるよう、隊員一人ひとりが体力・精神力の維持・向上に努めるとともに、部隊としての結束を一層強化しました。隊員は相互に連携し、一丸となって訓練に邁進し、任務遂行能力のさらなる向上を図りました。

【築城訓練】



継続した戦闘力の強化 野外訓練

第14高射特科隊（隊長 岩月賢二 2等陸佐）は、4月中旬、小野演習場（愛媛県）において野外訓練を実施しました。

本訓練は、複雑化・多様化する任務環境において継続して戦闘力を発揮するため、対空戦闘要領の確立を図るとともに、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作を確認・演練しました。

特に、衛星による上空からの偵察や敵の地上偵察からの標定を意識した訓練を実施し、装備の隠蔽や、部隊の分散といった戦い抜くために重要な能力を強化させました。

第14高射特科隊は、引き続き任務完遂のため、プロ意識をもって更なる練度の向上に努めていきます。



射撃準備



偽装網の展張



警戒

訓練環境の維持

教育訓練基盤構築

第14施設隊（隊長 酒井俊一 2等陸佐）は、4月中旬、日本原演習場（岡山県）で実施された『方面統制演習場 第1次教育訓練基盤構築』に参加しました。

本基盤構築では、約30名の隊員が西・中央停弾堤整備等の任務を施設科の知識や技能を最大限に発揮して整備を実施しました。

連日の降雨という悪条件の中でも、各種施設器材やダンプ車両の効果的な活用と手作業班との緊密な連携により、着実に訓練基盤の構築を実施しました。

訓練間、安全管理を確実にし、事故や一人の負傷者を出さず任務を完遂しました。また、若年隊員が現場で実力を磨いて、施設科隊員としての基礎作業や機械操作能力を大きく向上させる貴重な機会となりました。

第14施設隊は、これからもあらゆる場を活用し施設技術の向上に努め、旅団の任務完遂に寄与できるように日々精進して参ります。



停弾堤整備



日々の点検



燃料に関する安全管理教育



整地作業

第50普通科連隊（連隊長 小野康晴 1等陸佐）は、4月中旬、日本原演習場（岡山県）で実施された『方面統制演習場 第1次教育訓練基盤構築』に参加しました。

基盤構築とは、実効的な訓練・演習を実施するために不可欠な演習場のインフラ基盤を維持・充実を図るものです。主に、機動道路の整備、射場・道路の整地、倒木除去、除草等、春と秋を中心に実施されています。また、整備任務を通じて隊員の指揮・幕僚能力の向上を図るほか、隊務の総合一体化にも重点をおいた訓練となります。

訓練期間中は降雨により足場がぬかるむ場面もありますが、安全管理に万全を期して全隊員が無事に任務を完遂し、日本原演習場における訓練環境の維持に寄与しました。



日本原整備隊 編成完結式



弾着地域整備



除草作業



倒木除去

『大好きなととへ』

いつも家族のために一生懸命働いてくれて、ありがとう。

ととが、帰ってきて玄関のドアがガチャッと音がすると「ととだー!」と、子供達が玄関まで走って行ったり子供達をお風呂に入れてくれている時にお風呂から子供達の楽しそうな笑い声が聞こえてくると史朗くんと結婚して良かったなあと思います。

いつも子供達と全力で遊んでくれて、笑顔にさせてくれていつも本当にありがとう。

もうすぐ結婚して10年になるけど、お互い体が丸くなってきたので一緒に運動がんばろうね!

あと、タバコはそろそろ控えてね!

これからも一緒に楽しく過ごしていこうね。

妻 梨菜さんより



今回は第14偵察隊に所属し、レーダを用いて目視では到底見つけることのできない距離の敵を発見し、任務完遂に寄与する高橋3曹にスポットを当てていきます。

レーダーを駆使して情報収集
見えない敵を丸裸に!



- 部隊 ▶ 第14偵察隊
たかはししょうご
- 氏名 ▶ 高橋 昌吾
- 出身 ▶ 高知県
- 趣味 ▶ 映画鑑賞



偵察隊と言えば、斥候による偵察やオートバイを巧みに操った前進、87式偵察警戒車による射撃等のイメージが強いです。

しかし高橋3曹が活躍している偵察部隊は、自らの目で行う偵察のほかに通信電子機材を主に使用して情報収集を行う部隊であり、職人技とも言われる『経験』がものを言うプロフェッショナル集団です。

高橋3曹に聞きました

どんな仕事してるの?

私は、レーダ陸曹として、主にマリンレーダという装備を用いて沿岸監視等における情報収集を行っています。ただ見つけるだけでなく、船舶等の大きさや速度、前進方向等を踏まえて不審な船を識別することができます。

敵の細かな特徴等を収集できるよう訓練に励んでいます。

周りの方に聞きました

高橋3曹はどんな人?

高橋3曹は、いつも笑顔で真面目で後輩の面倒見もよく、偵察隊にはなくてはならない存在です。

レーダに関する知識もそうですが、今年の記念行事ではオートバйдリルのメンバーに選ばれるほど、バイクの技術も持っており、まさに文武両道な隊員です。

今後も彼の活躍には目が離せません!

栗栖3曹

四国4県 イベントスケジュール

第14旅団の部隊や四国4県の地方協力本部が様々なイベントに参加して
 装備品展示 🚚 制服試着体験 🧑 音楽演奏 🎵 などを行い、皆様のご来場お待ちしております♪
 ※ 急遽変更となる場合がございます。ご了承ください。



日付 イベント名 場所

6/6(土)	高松定期演奏会	レクザムホール 大ホール	🎵
6/6(土)	艦艇広報（護衛艦ひゅうが）	高知新港	🚢
6/7(日)	徳島駐屯地記念行事	徳島駐屯地	
7/19(日)	サマーフェスタ2026小松島港まつり	小松島基地・小松島市	🚚

ブルーインパルスがやってくる！

7/26(日)	善通寺駐屯地納涼祭	善通寺駐屯地	
8/1(土)	高知駐屯地納涼祭	高知駐屯地	
8/6(木)	松山駐屯地納涼祭	松山駐屯地	
9/12(土)	新居浜おしごとフェス	イオンモール新居浜	🚚
9/12(土)13(日) /19(土)20(日)	はたらく乗り物 ワンダーワールド	愛媛県総合科学博物館	🚚

徳島県：青 香川県：緑 愛媛県：オレンジ 高知県：赤



公式ホームページ



Instagram

facebook

YouTube

